

お客様各位

株式会社セゾン情報システムズ

HULFT 事業部

## HDC-EDI Manager を長期間安定運用するための注意事項

HDC-EDI Manager の長期間連続運用により、データベース領域不足が発生する場合があります。  
HDC-EDI Manager の安定運用を継続するための注意事項について、以下の通りご案内申し上げます。

－ 記 －

### 1. 対象製品

HDC-EDI Manger Ver.2.0.0 以降

### 2. 注意事項

#### 【事象】

HDC-EDI Base / HDC-EDI Manager(以後 HDC-EDI と表記)を長期間連続で運用した場合に、HDC-EDI で使用しているデータベース領域不足が発生し、HDC-EDI が正常に動作しなくなる場合があります。

#### 【原因】

データベース領域には設定情報のほか、HDC-EDI サーバで行われた送信元・送信先の各トランザクション履歴を関連付けするための情報[連携管理情報]が蓄積されます。この情報を削除せず蓄積し続けることでデータベース領域が不足し、処理状況や履歴を出力・参照できなくなることが原因です。

※連携管理情報は、1レコードあたり約 550 byte の領域が必要です(この値は今後のアップデートで予告なく変更される可能性があります)。

#### 【連携管理情報における領域増加のタイミング】

HDC-EDI Manager を使用した連携処理を実行した際に増加します。

#### 【連携管理情報における領域削除のタイミング】

以下処理を実施した際に、指定された範囲の「連携管理情報」が削除されます。

- EDIDeleteLinkDb コマンドで連携管理情報の削除を行った場合、該当の「連携管理情報」が削除されます。
- HDC-EDI Manager で「業務セットの削除」もしくは「業務情報の削除」を行った場合、それぞれに関連する該当の「連携管理情報」が削除されます。

### 3. 予防方法

データベース領域不足の発生を予防するために、データベース領域を随時拡張するか、定期的に連携管理情報の削除を実施してください。また、連携管理情報のレコード削除を行うと削除領域の断片化が発生する可能性があります。レコード削除時はインデックスの再創生 (REBUILD) を実施することを推奨します。

#### <連携管理情報の削除方法>

EDIDeleteLinkDb [-from 削除対象開始日] -to 削除対象終了日

※連携管理情報削除コマンドの詳細については、「HDC-EDI Manager Ver.2」の「管理者マニュアル (HDCEDIMG2ADM.COM.pdf)」をご参照ください。

#### <インデックスの再創生方法(Oracle DBの例)>

```
ALTER INDEX IDX_RENKEI_MANAGEMENT_INFO001 REBUILD ONLINE;
```

```
ALTER INDEX IDX_RENKEI_MANAGEMENT_INFO002 REBUILD ONLINE;
```

```
ALTER INDEX IDX_RENKEI_MANAGEMENT_INFO003 REBUILD ONLINE;
```

```
ALTER INDEX IDX_RENKEI_MANAGEMENT_INFO004 REBUILD ONLINE;
```

```
ALTER INDEX IDX_RENKEI_MANAGEMENT_INFO005 REBUILD ONLINE;
```

#### 4. 事象発生時の復旧方法

HDC-EDIの運用中に、データベース領域不足が発生した場合には、以下の手順で復旧が可能です。

- (1)不要な連携管理情報の削除もしくはデータベース領域の拡張
- (2)連携管理情報を削除した場合はインデックスの再創生(推奨)
- (3)送信元よりファイルを再送

#### 【改訂履歴】

2014/08/26 「連携管理情報」の領域増減タイミングを追記。

以上